



【武蔵野市議会議員】

かんげんたろう

菅源太郎

市議会会派「立憲民主ネット」
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2-2-28(市役所内)

市政レポート

2024年春号

vol. 01

新市長の 政治姿勢を 質す!

市議就任2ヶ月
本会議の
初質問に立つ!



菅源太郎 議員

一見丁寧だが懸案 「先送り」市政にならないか

市長選後初の定例会は2月20日に開会しました。「武蔵野を立て直す!!」と訴え、339票差で勝利した小美濃市政の方向性が注目されましたが、松下市政のもとで策定された第六期長期計画・調整計画(六長調)は、1月に策定委員会答申をほとんど変えることなく決定されました。その後発表された施政方針では、「二中と六中の統廃合は白紙」(2025年度まで検討と答弁)「住民投票制度の議論は凍結」と公約を反映しましたが、同じ公約でも学校給食無償化は、東京都が半額補助する方針を示し、近隣の三鷹市や西東京市が実施に踏み切りましたが、武蔵野市では庁内検討調整会議を設けて今年9月まで検討します。

総じて「凍結」「白紙」「庁内で検討」「議会と議論」との小美濃市政は、

一見丁寧なようですが、決断しない懸案「先送り」市政になりかねません。

市長公約は 第二次調整計画策定で反映

1月の全員協議会で六長調について報告があり、私は住民投票制度を定めた自治基本条例19条を定着するとの長期計画と、住民投票条例の凍結との選挙公約の矛盾などを市長に質問し、市長も長期計画で読み込めない公約のあることは認めました。

その時点で市の対応策は曖昧でしたが、2月の施政方針演説と各会派代表質問への答弁で、長期計画で読み込めない公約は第二次調整計画を市民参加で策定すると表明しました。

保健センター総事業費 1.75倍に

2月の全員協議会で保健センター増築・複合施設整備の総事業費が、資材や労務費の高騰を理由に40億円から70億円になるとの説明を受け、私を含めて多くの議員が一旦立ち止まるべきと発言しました。

私は、市長が自らの立場を示さず、市議の慎重意見を使って事業を進めようとする市職員を説得するのかと質問し、市長は自ら主導して庁内で議論すると答えました。そして実施設計契約を見送り、代替案を示すことになりました。

今後も学校を含む公共施設の建設費は軒並み上昇すると思われ、難しい対応を迫られます。



保健センター外観イメージ(基本設計書概要版)

菅源太郎 市政報告会 を行います!

市政のご報告をさせていただきます
お気軽にご参加ください!

2024年3月31日(日)

開会 9:30~10:30 参加無料です

かたらいの道
市民スペース

武蔵野市中町1-11-16

●プロフィール

1972(昭和47)年 武蔵野赤十字病院で、菅直人・伸子の長男として誕生。栄光乃園幼稚園、市立二小・六中卒業。生徒会活動に熱を注ぐが中3で不登校。高校中退後、子どもの権利確立のための市民活動をつづけ、NPO法人Rights(ライツ)で18歳選挙権を実現

2003・05年 衆議院選挙(岡山1区)に挑むも落選

2010年 京都精華大学人文学部卒業後、(株)第一総合研究所勤務

2013~23年 衆議院議員菅直人秘書

2023年12月 武蔵野市議補選当選

趣味: 鉄道旅行 家族: 妻、子2人

市政に対するみなさんの声をお聞かせください

武蔵野市議会議員 菅源太郎

〒180-0006 東京都武蔵野市中町3-8-1-718

TEL. 090-3436-9761 E-MAIL info@kangentaro.com

https://kangentaro.com ● kangentaro 菅源太郎



一般質問

「市民自治」「長期計画」にもとづく市政運営

〔質問〕 後藤市政からの「市民自治」「長期計画」にもとづく市政運営を、土屋市政はほぼ踏襲した。18年ぶりに政権交代した市長はこれを踏襲するか。

〔答弁〕市長 市民自治及び市民参加の取組を積み重ねながら、様々な公共的課題の解決を図ってきたからこそ、現在の武蔵野市があると思っている。歴代の市長がそれらをしっかりと踏襲してきた。私もそれを踏襲していきたい。

〔質問〕 長期計画に「市民自治における（略）若者世代の参加を促し（略）活動を支援するなど、参加者の裾野を広げる取組を新たに進める必要がある」とある。様々な中間組織が後継者難のなか、担い手の裾野を広げる具体策があれば。

〔答弁〕市長 例えば消防団での人間的なつながりは非常に大きい。縦のつながり、横のつながりがある団体や組織に積極的に声をかけて、市民自治の担い手づくりというのはしていくことがある。

コメント

新市長の初議会だったので基本認識を問いました。新市長が歴代市政の立場を踏襲したことは安心しましたが、自治基本条例の定着など具体的な取組を注視します。私は市民自治への現役子育て世代の参加について尋ねましたが、市長は消防団を例示され議論が十分かみ合わなかったです。

常設型住民投票制度

〔質問〕 凍結の理由は「全国的なニュースとなり、市役所や議員にメールやFAXなどが大量に届きました。まちには大音量の街宣車が走り回り、駅ではデモ行進が起こるなど市内も騒然とし」たことなのか。これでは対立する政治課題があるたびに、メール・街宣・デモなどの圧力をかければ屈するとのメッセージにならないか。

〔答弁〕市長 凍結の理由が街宣車により市内が騒然としたということではなく、市内が騒然としたことが市民の不安となり、あのような状態にもう二度と戻してくれるなという声がたくさん寄せられた。まだまだしこりが残っている。今回は凍結という決断をさせていただいた。

〔質問〕 市長はどのような条例なら賛成したのか。

〔答弁〕市長 今あるのは（地方）自治法での住民投票だけでも、その上乘せというか、市独自の条例、それはもう中身によとしか申し上げようがない。市独自でそういったさらに二元代表制を補完するための条例が必要だということになるならば、これは否定するものではない。

コメント

メールや街宣車などの「騒動」が再燃するのはこりごりとの強い印象を受けました。制度によっては常設型住民投票に賛成する余地のあることは分かりました。

教材費の支援、標準服・体育着・上履きの指定、合同部活動

〔質問〕 教材費の無償化を品川区のように全児童・生徒に対象を広げてはどうか。標準服・体育着・上履きを指定する理由とそれを解除する考えはあるか。

〔答弁〕教育長 市立小・中学校の教材費などは、支援を必要とする家庭に対しては、定額の補助を行っている。市立中学校の多くで、学校への帰属意識や安全管理上の観点から、標準服・体育着・上履きの指定を行っている。

〔質問〕 中学校の合同部活動について、競技ごとに異なる拠点校となるか、文化部は他校の部活動への参加を認めてはどうか、自転車の利用を認めるか。

〔答弁〕教育長 市立学校部活動の在り方検討委員会を中心に協議を深めている。これまでも休日や大会などに参加する際は合同チームを編成して活動する合同部活動を実施していた。これからは、複数校の生徒が拠点校の部活に参加する方式を検討している。この方式では、拠点校にのみ部活動顧問を置いて、他校から参加する中学校には顧問を置く必要がなくなる。生徒の参加方法や、中学校の組合せなど、運用に係る内容なども委員会で検討が行われている。

コメント

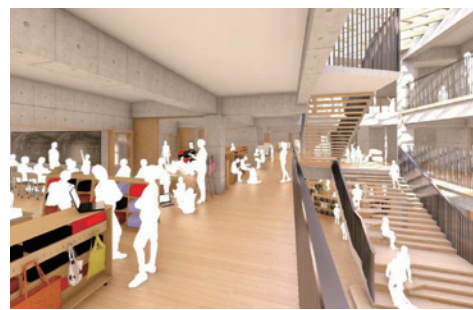
標準服・体育着・上履き指定の理由を学校への「帰属意識」と説明したのは驚きました。現状説明のみでしたが、今回は他の再質問で時間を使ったので、引き続き取り上げていきます。

文教委員会での行政報告

五小と井之頭小の改築基本設計では、新校舎での更衣室の有無と五中・一中の仮設校舎への通学バス運行について質しました。今後の学校改築では、学校施設整備基本計画で児童生徒用更衣室は設置される、通学バスのコースはすでに確定しており、車体や運行時間を検討しているとの答えでした。

子どもの学習・生活に関する調査報告書では、ヤングケアラーと思われる児童生徒が1割程度いる可能性が浮き彫りとなりました。

学習者用コンピュータ活用指針では、「不登校支援や学級閉鎖時の対応等（略）、積極的な活用を進める。」と明記されました。



井之頭小学校オープンスペースのイメージ（改築基本設計概要版）